

今週のビルマのニュース 2008年8月8日【0824号】

今週の主なニュース：

・ASEANと国連は6月にサイクロン被災地域で行った合同調査報告を公表し、復興のために今後3年間に約10億ドルの資金が必要だとした（報告34頁）。しかしビルマに入る救援活動資金の20%以上が為替レートの関係で目減りしている問題（下記参照）が大きく取り上げられている。国連も資金が失われている事実を認めており、ホームズ事務次官（人道問題担当）は「非常に深刻な問題」と述べた（28日付フィナンシャル・タイムズほか）。

背景：国内で活動する国際団体は活動費用を国営ミャンマー外国貿易銀行に預金し、引き出す際にはFEC（外貨兌換券）を使用しなければならない。FECは米ドルと同価値のはずだが、サイクロン後、急増する需要に対応するため軍政がFECを大量増刷した。このため現在はFECの価値が米ドルより約20%低く、外貨に20%の課税をしているも同然で、軍政の収入となっているという。

その他：米国が新たに制裁、ほか

- ・カレン州、モン州で爆弾が爆発
- ・国連人権特別報告者がビルマを訪問。
- ・ブッシュ米大統領がタイを訪問
- ・1988年8月8日に起きた民主化運動の武力弾圧から20年目を迎える8月8日
- ・北京オリンピックにビルマからも選手6人が参加。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

今週の発表はなし

イベントなど

8月8日は1988年8月8日に起きた民主化運動弾圧の20周年記念日。日本を含む世界各国で「忘れない、あきらめない」キャンペーンが展開される。

・8888ビルマ民主化運動記念デモ行進 在日ビルマ人共同行動実行委員会（五反田南公園集合、8日13時半～）

・第12回ビルマ市民フォーラム総会『もうひとつの「8・8」を忘れるな！サイクロン被災から3ヶ月—国民投票後のビルマ』根本敬、キン・オーンマー、秋元由紀の各氏が講演（池袋ECOとしま8F、9日18時～）

・災害救援・チャリティイベント「しあわせ」を届けよう - ビルマ サイクロン・中国四川省大地震（神楽坂 善國寺境内、16日12時～）

・ビルマ・ロヒンギャ難民（複数）難民不認定取消訴訟（福岡地裁302号法廷、19日13時15分～）

・連続セミナー第 期「外国籍の家族と子どもの今」第3回夏休み特別企画『日本の高校生・世界の高校生～feel globalization』ビルマ難民高校生の体験談あり（イエズス会岐部ホール上智大学隣り・聖イグナチオ教会内、23日13時半～）要申込

・特定非営利活動法人メコン・ウォッチの季刊誌「フォーラム Mekong」、ビルマ特集の最新号が好評発売中。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165